

# 苗場山麓ジオパーク学術研究実施報告書（鑑文）

平成 28 年 1 月 31 日

団体名（所属） 上越教育大学大学院

代表者名（氏名） 山縣 耕太郎

## 1 研究の名称

## 2 研究のテーマ

信濃川河成段丘を覆う風成塵堆積に基づく古環境の復元

## 3 調査・研究等の日程と概要（調査区域や地点・調査方法など）

※これまでの実績と今後の予定

| 日程                                                  | 主な調査・研究等の概要                       |
|-----------------------------------------------------|-----------------------------------|
| 平成 27 年<br>11月22, 23, 24日<br>12月2, 3日<br>12月12, 13日 | 野外において段丘上に堆積する風成塵堆積物の観察，試料採取を行った。 |
| 平成 年                                                |                                   |

## 4 調査・研究結果（概要）

風成塵堆積物の垂直方向の特徴変化から、この地域における環境変化の特徴を明らかにするために、津南町から栄村にかけて信濃川沿いの段丘上において標準の露頭として津南町中深見の露頭を選定し、テフラとの層位関係を確認しながら連続的にサンプルを採取した。採取したサンプルに対して粒度組成、鉱物組成、帯磁率に関する分析を行っている。予察的に、垂直方向の粒度、色調、土壌構造の変化が確認されている。また、上越および妙高地域の風成塵堆積物と比較すると、津南地域の同層準の風成塵堆積物の層厚、粒度は両地域の中間的な値を示すことが確認された。

※調査・研究結果がわかる資料を添付してください。